



## 本部委員長とJR総連執行委員の出向通告は、 組合活動をさせないための弾圧だ！ 組合活動の妨害は不当労働行為だ!!

会社は、JR総連執行委員と本部委員長に対して54才原則出向を根拠に出向先の労働条件等を一方的に通知しました。

コロナ禍による東海道新幹線の運転本数の減少を理由に、新幹線乗務員の54才原則出向の再開を会社は一方的に通告し、実施してきました。しかし会社は、経営懇談会や団体交渉などでは、「コロナは感染症であり必ず改善されるものであり、東海道新幹線をご利用されるお客様も必ず戻ってくる！」と、言い切っているのです。ならば、列車本数が100%戻るのであるならば、乗務員は確保しておかなければならず、資本関係もない警備会社や清掃会社に大事な社員を出向に出す余裕はないはずです。

会社はなぜ、強行にJR東海労組合員を出向に出すのでしょうか？

それは、今後のリニア建設に会社の利益を回すためには、職場でも言うJR東海労組合員が邪魔なのです。

会社は収入が減った今、社員1人あたりの労働強化を行い、人件費はかけずに、会社の収入を上げる目的があります。

皆さん、JR東海労組合員がいなくなった職場の労働条件と労働環境はどうでしょうか？要員不足による年休の発給数が減ったり、ものが言えない状況になっていませんか？パワハラなどが増えていませんか？社員を人として扱わずに、機械の部品の一つとしか考えない職場にしようとして会社は考えているのです。

私たちは、会社による54才原則出向を理由にしたJR東海労の組織破壊攻撃を絶対に許しません！

労働組合の役員を出向させることは  
組合の弱体化を狙った不当労働行為だ！